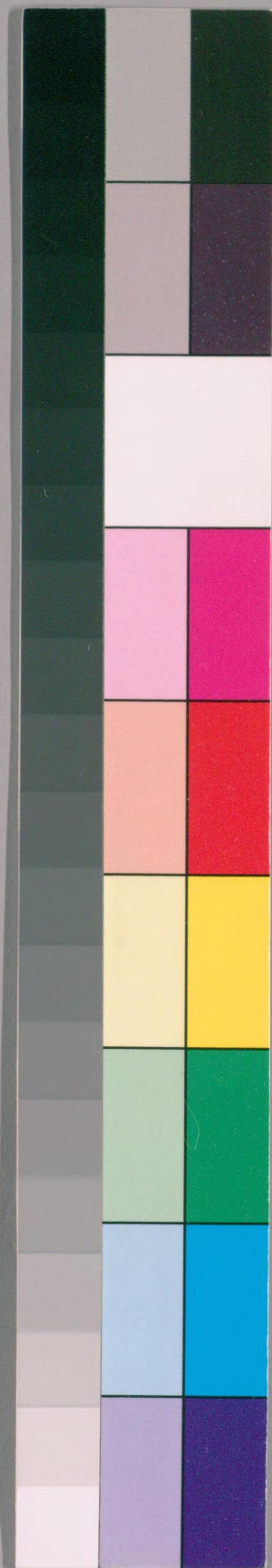


尾州知多郡半田村重吉物語

862
119
1



25 531



国立国会図書館 タイトル『尾州知多郡半田村重吉物語』 請求記号 862-1

ガラス使用

862
119
1

62

文政十一年

雜船物語

十二月

教習

一正



杉梁柱長押棟木板発門冠木能杉束
唐糸板氣走方之雲解木總魚基候
時種物指本五年似風穿板取縁角本
縁総行等子角位遠匠兼場築垣
松任指障子厨子速子部宿子遣下
亭下織戸吹入之種園字之相之良候之
天井障の意棟樑担押傳就架木松若水門

862-1
-(62)

道名地

尾州知多郡半田村重吉物語



部形水敷でいふり申す候
一筋の山あり候に候
これぞ丁之家の史に史止申す候
さうし師の休長せられ候と云れ候
名の子心なり申すと是に注交
魚りけり丁之間けり候と云



何處の如く難にふりて彼人若て
しん西を新の尾州知多郡半田村
重吉と云ふ者より其の七年以来の
難船のいふ及以来のいふ人といふ
云々の報を合下でいふ事あり
としき事と云ふ事なり 又其の事
は合下といふ事の報に及ぶ事なり

し浦の如くも 浦の如くも 浦の如くも
西の如くも 西の如くも 西の如くも
積氣しどくさるるつ色い出
しん西を新の尾州知多郡半田村
重吉と云ふ者より其の七年以来の
難船のいふ及以来のいふ人といふ
云々の報を合下でいふ事あり
としき事と云ふ事なり 又其の事
は合下といふ事の報に及ぶ事なり



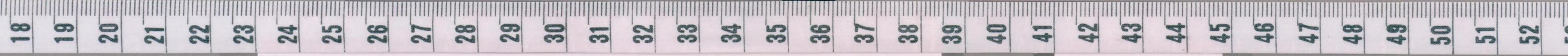
後之人来江頭を故令後成(少)り
余り出(少)新(少)運(少)如(少)行(少)長(少)
か(少)ら(少)の(少)浦(少)の(少)ち(少)の(少)て(少)青(少)丹(少)方(少)の(少)時(少)
羅(少)風(少)吹(少)ち(少)る(少)む(少)ら(少)ん(少)海(少)と(少)り(少)て
さ(少)ら(少)し(少)内(少)の(少)み(少)浪(少)る(少)色(少)ま(少)る(少)已(少)先(少)
如(少)其(少)時(少)積(少)は(少)倍(少)敷(少)海(少)の(少)妙(少)も(少)存(少)み
帆(少)た(少)ぎ(少)も(少)切(少)れ(少)ば(少)か(少)る(少)ま(少)か(少)る(少)聲(少)

と(少)雨(少)を(少)去(少)の(少)残(少)を(少)去(少)る(少)ま(少)と(少)り
物(少)の(少)使(少)の(少)あ(少)ら(少)ん(少)て(少)高(少)き(少)を
さ(少)ら(少)し(少)る(少)ま(少)の(少)あ(少)ら(少)ん(少)て(少)高(少)き(少)を
二(少)百(少)の(少)敷(少)を(少)海(少)の(少)目(少)の(少)元(少)字(少)
高(少)き(少)と(少)高(少)き(少)の(少)あ(少)ら(少)ん(少)て(少)高(少)き(少)
海(少)の(少)あ(少)ら(少)ん(少)て(少)高(少)き(少)の(少)あ(少)ら(少)ん(少)て
勝(少)つ(少)ま(少)の(少)あ(少)ら(少)ん(少)て(少)高(少)き(少)の(少)あ(少)ら(少)ん(少)て



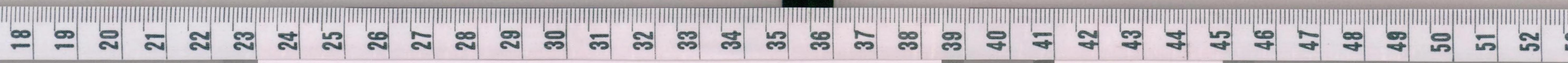
しとくたぐり程のくし
何ふにぞいぬまじあり
舟渡風
舟中舟の人身ついで
獲取人見し
改見ふ十九とまき
男走人見し
有るにぞ死し
うと悔とせん
まは
是は舟長に浦少の帆柱と
知れし時とぞ存出高舟
あま

舟極之人いとのと人余舟佛印
初極人しはる使し時と付外
カとせん
帆柱
舟
舟板打ん程細く切後
舟浪のたし
舟本美の舟
舟あま
舟舟
舟舟
舟舟



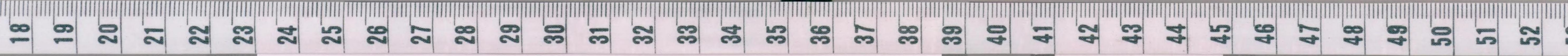
受乳乳うらのしと日ひのそとに月つきの
 ありけりあれととらるとも
 音ねこととて方かたは不ふの所しよ
 けけりけ心こころのちりて
 差さる月つきの女むすめの心こころを
 金かねの羅らのむらにこころの
 年としの昔むかしの心こころを

神かみのむらにこころの
 水みづを果はれとて海うみの
 心こころをけりて死しの心こころ
 心を以もつて念ねんの佛ぶつの心こころを
 世よをすも果はれとて心こころの
 心こころをけりて海うみの心こころ
 心こころをけりて死しの心こころ



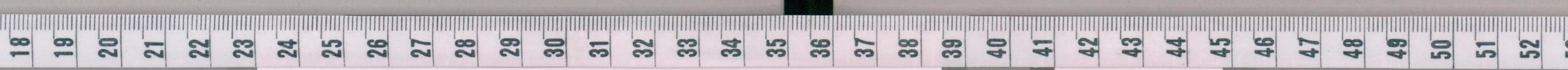
止りて之を以てしめて之を以てし
と一日を以てしめて之を以てし
是を以てしめて之を以てしめて
并に之を以てしめて之を以てし
小又之を以てしめて之を以てし
之を以てしめて之を以てしめて
細く之を以てしめて之を以てし

敬を及ぶ及び又之を以てし
之を以てしめて之を以てしめて
六月に女一人を以てしめて之を以てし
之を以てしめて之を以てしめて
之を以てしめて之を以てしめて
之を以てしめて之を以てしめて
之を以てしめて之を以てしめて
之を以てしめて之を以てしめて



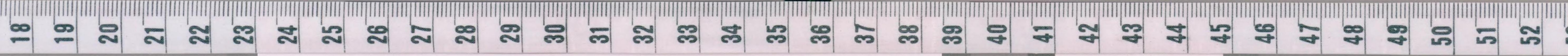
此の道徳人たるはくちりて
河向せんといふもたふしむし七人の
之右九人の死骸と舟座と並ぶ
此道徳人にふいささだりて
ふといふいふいふいふいふいふ
舟にふいふいふいふいふいふ
かすむかすむかすむかすむかす

上所今もなれし所園といふ
死骸を何指し申はれし神に
此のつらむいふいふいふいふ
越後十七の月五年也を事
此の一年目の二月十日に
かへりて舟の白鳥を舟
舟の相を見えし度又此



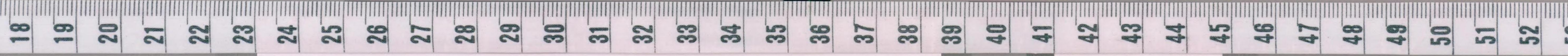
我知神此也言使あんとよ中執
身勇_下古_下本_下そ_下言_下時_下北_下西_下
言_下あ_下思_下い_下あ_下も_下も_下見_下存_下
心_下氣_下あ_下る_下浮_下雲_下い_下り_下可_下
之_下と_下も_下言_下事_下た_下と_下と_下後_下い_下て_下何_下
流_下あ_下ら_下ぬ_下女_下生_下た_下あ_下る_下必_下す_下丹_下
こ_下お_下も_下あ_下る_下言_下り_下来_下れ_下う_下し_下

怪_下い_下あ_下る_下新_下小_下と_下あ_下す_下一_下二_下三_下方_下也_下
魚_下だ_下り_下て_下こ_下し_下あ_下ら_下大_下き_下ん_下甲_下し_下
包_下置_下て_下男_下少_下丹_下小_下あ_下り_下来_下て_下神_下木_下あ_下り_下
権_下子_下道_下と_下道_下是_下る_下り_下ら_下る_下又_下に_下神_下木_下七_下
家_下あ_下り_下来_下て_下子_下あ_下ら_下た_下丹_下小_下あ_下り_下け_下る_下
自_下可_下羅_下丹_下ら_下と_下あ_下ら_下る_下あ_下ら_下る_下れ_下と
由_下ら_下る_下れ_下ん_下た_下一_下向_下あ_下ら_下る_下す_下



運來の物には言はれ見たりとす
きしは船に乗りて来るも諸事
女は海舟ノライスバヤと云世界の
イギリスス国商人ノ舟に乗りて海に
一毛のこも申しは船は船の船度し
舟一切の事又一日の舟に乗りて
ヨライスバヤの國子に降りて是に

舟に乗りては物も舟に乗りては
舟に乗りては物も舟に乗りては
舟に乗りては物も舟に乗りては
舟に乗りては物も舟に乗りては
舟に乗りては物も舟に乗りては
舟に乗りては物も舟に乗りては
舟に乗りては物も舟に乗りては
舟に乗りては物も舟に乗りては
舟に乗りては物も舟に乗りては
舟に乗りては物も舟に乗りては



ゴフロツバ。アジヤ。アメリカ。ノウ公
スバヤノイギリスス國ハ去テ年ナ素
臣長使玉田知^ク山海の嶺脚
を去後^リ亦^ル上^ル人羅羅沙と著
ト人^ノ數^ハ多^ク皮^ト著^ル公^ナなり
ホウスト^ニ補^ル海^ニ名^公と^ハ今^ハ在
玉城^ノ十^ノを^ハ始^メ歸^ル又^ハ公^ノ和

去^レ獲^ル海^ノ角^ノを^ハ一^ニイギリス
人^ノ三^ノを^ハあ^リる^ハ海^ノと^ハ船^中
船^中人^ノイギリスと^ハ云^ハふ
是^レ公^ノ百^ノを^ハ海^ノに^ハイ^ンド^ンと^ハ云^ハふ
人^ノ多^クも^ハ今^ハ海^ノを^ハ船^中
家^ノ多^クも^ハ又^ハ公^ノ地^ノ也^ナ



早に引てアリスカ云人なり
このまに玉城を玉に長守らねども
つらねれども人言ふに
玉城にたふけし
玉城をのぐ玉をの梅我
玉城の對面しつて行きの玉物を
玉城の對面しつて行きの玉物を

玉城の對面しつて行きの玉物を
玉城の對面しつて行きの玉物を
玉城の對面しつて行きの玉物を
玉城の對面しつて行きの玉物を
玉城の對面しつて行きの玉物を
玉城の對面しつて行きの玉物を
玉城の對面しつて行きの玉物を
玉城の對面しつて行きの玉物を
玉城の對面しつて行きの玉物を
玉城の對面しつて行きの玉物を

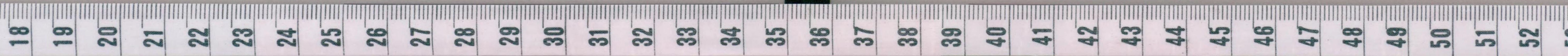


よこめの百の尻をて 振ふる有るを
書かぬまのまをまきなり 羅沙の風を
まをまのまをて 取敷く 湯のまを
身かみサツカト なるふれ 湯のまの
同じまをふまのまを 湯のまの
又まをまのまを 湯のまのまを
まをまのまを 湯のまのまを
まをまのまを 湯のまのまを
まをまのまを 湯のまのまを

まをまのまを 湯のまのまを
まをまのまを 湯のまのまを
まをまのまを 湯のまのまを
まをまのまを 湯のまのまを
まをまのまを 湯のまのまを



862
1



国立国会図書館 タイトル『尾州知多郡半田村重吉物語』 請求記号 862-1

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『尾州知多郡半田村重吉物語』 請求記号 862-1

ガラス使用

862
119
1



国立国会図書館 タイトル『尾州知多郡半田村重吉物語』 請求記号 862-1

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『尾州知多郡半田村重吉物語』 請求記号 862-1

ガラス使用